

## ■英国：OFGEM、8月9日大停電のエネルギー事業者の補償費を発表

英国のガス・電力市場局（OFGEM）は2020年1月3日、2019年8月9日の大停電の補償費としてエネルギー事業者3社が計1,050万ポンド（約14億7,000万円）を支払うことを発表した。本停電は、400kV送電線への落雷を起因として洋上風力やガス火力発電所の電源が大量脱落し、周波数低下リレー動作により約100万kW（顧客約115万件）の負荷遮断が行われたもので、鉄道網の停止など多くの経済損失と混乱を招いた。保護装置等の動作により落雷事故除去は適正に行われたものの、制御面での不具合により出力維持できなかったHornsea1洋上風力発電所を運営するØrsted社およびLittle Barfordガス火力発電所を運営するRWE社は、それぞれOfgemの任意救済基金に450万ポンド（約6億3,000万円）の補償費を自発的に支払う。また、英国の配電事業者UK Power Networks社は、英国系統運用者ナショナル・グリッドESOからの指令を受ける前から一部の顧客への再送電を開始するという技術違反を犯していたため、同基金に150万ポンド（約2億1,000万円）を自発的に支払う。同基金に集まった補償費は、最も経済損失額が大きかった鉄道網の遅延補償を中心に、消費者補償に充てられるとのこと。